



Q 下肢静脈瘤のリスク

脚に湿疹ができて良くならないので皮膚科を受診したところ静脈瘤によるものだといわれました。下肢静脈瘤とは、どのような病気ですか？

A 脚へ流れた血液は、ふくらはぎの筋ポンプによって心臓へ送られます。しかし、二本足で立つて歩く人間の心臓の高さは1m以上ありますから、しっかりと筋肉を動かしても一度に血液を心臓まで送り届けることはできません。そこで血液が重力に逆らって心臓へ戻るように静脈には「弁」がついています。この弁が壊れると血液が心臓に戻れなくなると血液が脚に溜まってしまいます。すると静脈が膨らみ、長く延びて蛇行してきます。これが静脈瘤です。静脈瘤では、脚に老廃物を含んだ

血液がうっ血してしますので皮膚にも様々な悪影響がでます。かゆみ、湿疹、色素沈着、皮膚潰瘍などが代表的な症状です。このような状態になると軟膏での完治は困難になります。

治療は、逆流している静脈を抜き取るストリッピング手術が基本です。以前は、1週間以上の入院が必要でしたが最近では日帰り治療、短期滞在入院治療を行う医療機関が増えていきます。また、さらに新しく外来でレーザーを用いた血管内治療を行う医療機関もあります。下肢静脈瘤の専門医を受診して相談されると良いでしょう。



下肢静脈瘤日帰りセンター
諸國眞太郎クリニック
院長 諸國眞太郎

完全予約制

【診療科目】■下肢静脈瘤日帰り治療外来 ■フットウェア外来 ■バスキューラボ(血管検査室) ■サプリメントドック

【予約方法】診察をご希望の方は、お電話でお問い合わせください。



下肢静脈瘤日帰りセンター

諸國眞太郎クリニック

SHOKOKU SHINTARO CLINIC

岡山市錦町6-17 アウルスタイル錦町2 4階 TEL.086-224-1313 FAX.086-224-1319
URL: <http://www.verix.jp> E-mail: laser@verix.jp

※お車でお越しの方は、当院契約駐車場「中外パーキング」を利用していただけますと1時間のサービス券を発行いたします。

